

1. 沖縄県内の地域および院内がん登録の実施状況を公開する。

目 標：昨年度行った地域および院内がん登録の実施調査の結果を更新し、公開する。

(対象施設 25 施設)

実 績： 協議未実施

評 価： 1 点

次年度：院内がん登録の実施状況を調査し、協議会のホームページで更新する。

2. がん登録をはじめるとの説明会を企画・開催する。

目 標：確実に院内がん登録が実施できるよう、がん登録をはじめるとの説明会を企画・開催する。

実 績： 協議未実施

評 価： 1 点

次年度：がん登録の法制化に伴い、各施設で新たにごん登録を始める施設が増えることが想定されるため、院内がん登録をはじめるとの説明会を企画・開催する。

3. がん登録部会の活動の学会報告および実績を論文化する。

目 標：毎年演題を出し、部会委員が発表する。

実 績：

1) 第 40 回日本診療情報管理学会学術大会

開 催 日：平成 26 年 9 月 1 日～平成 26 年 9 月 1 2 日

会 場：盛岡市民文化ホール (マリオス)

演題 1) 診療の質指標(Quality Indicator)を用いたがん医療の質の評価を行うためのデータ源(採録データと既存データ)に関する比較検討

演者 1) 琉球大学医学部附属病院 仲本奈々

演題 2) 診療の質指標 (Quality Indicator) を用いた沖縄県の胃がんの質評価の経年変化の検討

演者 2) 那覇市立病院 平安政子

演題 3) 院内がん登録実務者による日本版 Collaborative Staging の実施可能性に関する検討

演者 3) 中部徳洲会病院 安里邦子

2) ASCO's Quality Care Symposium

開 催 日：平成 26 年 10 月 17 日～平成 26 年 10 月 18 日

会 場：Boston Marriott Copley Place Boston, MA

演題 4) Assessing the validity of using claims data compared to medical chart reviews for measuring care quality in Japan

演者 4) 琉球大学医学部附属病院 仲本奈々

3) 第 73 回日本公衆衛生学会総会

開 催 日：平成 26 年 10 月 5 日～平成 26 年 10 月 7 日

会 場：栃木県総合文化センター

演題 5) 沖縄県における大腸がん診療の質の評価の経年比較 (2009, 2011 年症例) の検討

演者 5) 琉球大学医学部附属病院 仲本奈々

4) 第 9 回医療の質・安全学会学術集会

開 催 日：平成 26 年 11 月 2 2 日～平成 26 年 11 月 2 5 日

会 場 : 幕張メッセ国際会議場

演題6) 沖縄県における胃がん診療の質の評価の経年比較(2009, 2011年症例)の検討

演者6) 琉球大学医学部附属病院 増田昌人

評 価 : 8点

5) 第53回 全国自治体病院学会

開 催 日 : 平成26年10月30日~平成26年10月31日

会 場 : フェニックス・シーガイア・リゾート

演題1) 院内がん登録データによる当院の肺がん症例分析

演者1) 地方独立行政法人那覇市立病院 平安 政子

演題2) 院内がん登録への医事会計データの活用について

演者2) 沖縄県立中部病院 当間 豊

評 価 : 8点

次年度:引き続き学会活動を継続し、部会事業の評価を行う。

4. 一般向けに院内外に院内がん登録に関する広報活動を行う。

目 標 : 多くの県民が、がん登録の情報を知ることができる。

実 績 : 協議未実施

評 価 : 1点

次年度:がん登録の法制化に伴い、院内がん登録事業に関する広報活動を行う。

5. 拠点病院のがん登録情報を定期的に開示する。

目 標 : 各拠点病院の院内がん登録報告書を作成し、公開する。多くの県民が、がん登録の情報を知ることができる。

実 績 : 各拠点病院の院内がん登録報告書について、国立がん研究センターのがん診療連携拠点病院院内がん登録全国集計報告書や各県で作成されている集計報告書を参考に、報告書の内容を修正した。また、これまで集計表のみだった報告書にグラフやイラストを追加し、幹事会や協議会で意見を伺うなど報告書作成に取り組んだ。平成27年3月に報告書の冊子製本に向けて準備をおこなっている。

評 価 : 8点

次年度:拠点病院のがん登録情報を定期的に開示する。

6. 拠点病院で予後調査を実施し5大がんの生存率を算定する。

目 標 : 各拠点病院で5大がんの5年生存率を算定する。

実 績 : 生存率研修会後、各拠点病院で生存率の計測を実施中であるが、まだ算出方法や公表指針等が確立されていないため、施設によって様々な考え方で算出された結果であるため、単純に公表・比較はできない。

評 価 : 5点

次年度:生存率計測のための算定方法や公表指針について検討する。

7. 沖縄県内でがん登録研修会を企画・開催する。

目 標：生存率の計測に関する研修会を年に2回開催し、各施設において実務者が生存率を計測できるようになる。

実 績：今年度の研修会の日程は、第1回は2014年4月26日（土）、第2回は2014年11月29日（土）に開催した。第1回、第2回ともに、前回に「院内がん登録データを活用した生存率の計算方法」をテーマとし、講師には東京大学大学院医学系研究科公衆衛生学助教の中村文明先生をお招きし、講義と、統計ソフトを用いての実習を行った。第1回32名、第2回31名であり、いずれも好評を得た。（参加総数63名）

評 価：10点

次年度：引き続き研修会を継続し、研修会の評価を行う。

8. 国立がん研究センターの実務者研修会に参加する。

目 標：平成26年3月までに、25施設すべてで初級修了者が誕生する。

実 績：協議未実施

評 価：1点

次年度：平成27年3月末時点の各施設の院内がん登録初級者研修修了者数を調査する。

9. 厚生労働省科学研究(第三次対がん総合戦略研究)「院内がん登録の標準化および普及に関する研究」班(主任研究員西本寛)の Collaborative staging の研究に協力する。

目 標：2015年3月までに、拠点病院で、collaborativestaging登録を行い、結果を分析する

実 績：協議未実施

評 価：1点

次年度：拠点病院で Collaborative staging の登録結果を分析する。

10. 拠点病院においてがん診療の質の評価を行う。

目 標：拠点病院のがん診療の質の評価を行うためQIの測定・評価を継続的に行う。

実 績：2009年と2011年の胃がん大腸がんのがん診療の質指標(QI)の計測を行い、経年比較を行った。測定結果のフィードバック前にもかかわらず一部のQIでは実施率の改善を認められた。今後は結果のフィードバック後の症例で、さらなる改善が認められるのかを検証する予定である。

評 価：10点

次年度：拠点病院のがん診療の質の評価を行うためQIの測定・評価を継続的に行う。

平成26年度第2回院内がん登録研修会 アンケート集計結果

2014.11.29

出席者 32名

アンケート回答数

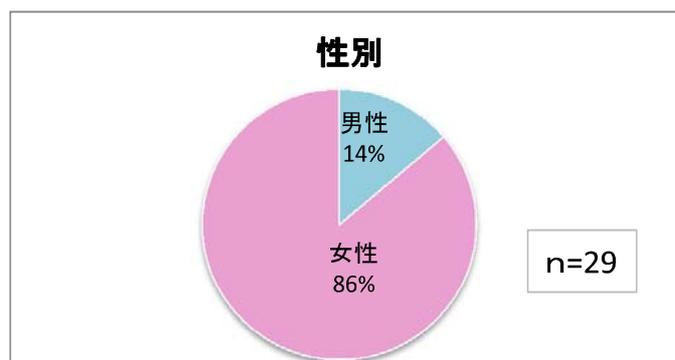
29 件

アンケート回収率

90.6%

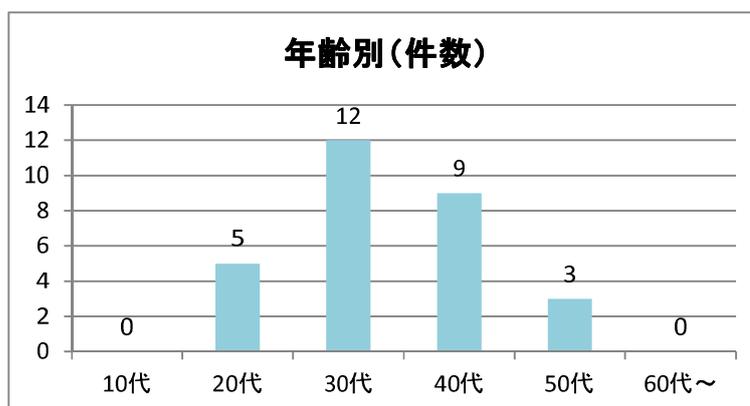
設問1.1 性別を教えてください。

性別	件数	割合
男性	4	13.8%
女性	25	86.2%
未記入	0	0.0%
合計	29	100.0%



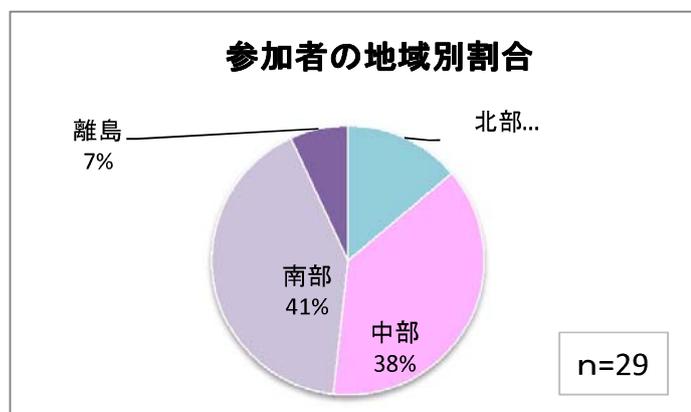
設問1.2 年齢を教えてください。

年齢	件数	割合
10代	0	0.0%
20代	5	17.2%
30代	12	41.4%
40代	9	31.0%
50代	3	10.3%
60代～	0	0.0%
未記入	0	0.0%
合計	29	100.0%



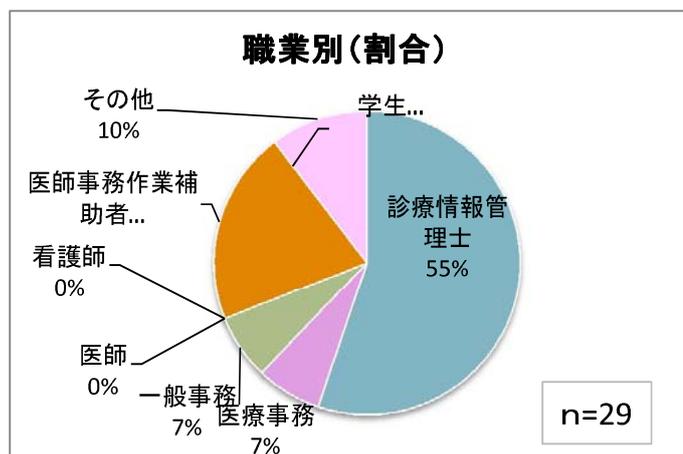
設問1.3 お住いの地域をお答えください。

地域	件数	割合
北部	4	13.8%
中部	11	37.9%
南部	12	41.4%
離島	2	6.9%
未記入	0	0.0%
合計	29	100.0%



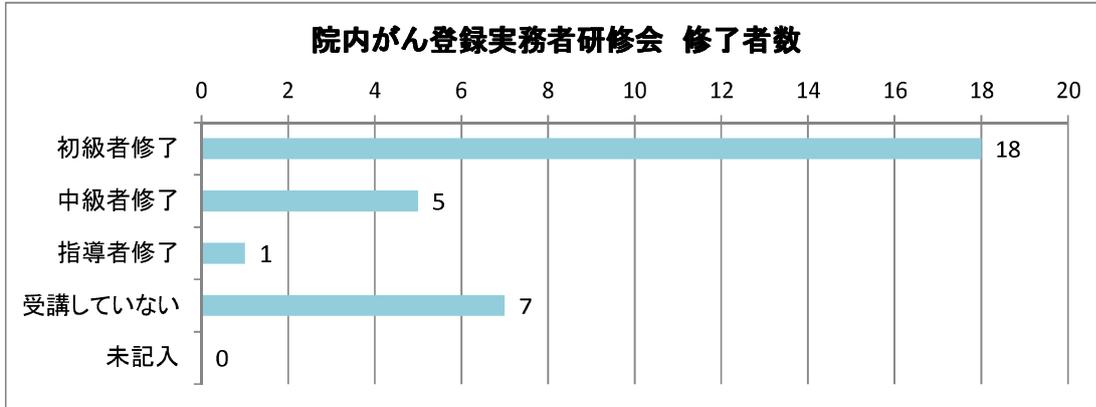
設問1.4 職業をお答えください。

職業	件数	割合
診療情報管理士	16	55.2%
医療事務	2	6.9%
一般事務	2	6.9%
医師	0	0.0%
看護師	0	0.0%
医師事務作業補助者	6	20.7%
学生	0	0.0%
その他	3	10.3%
未記入	0	0.0%
合計	29	100.0%



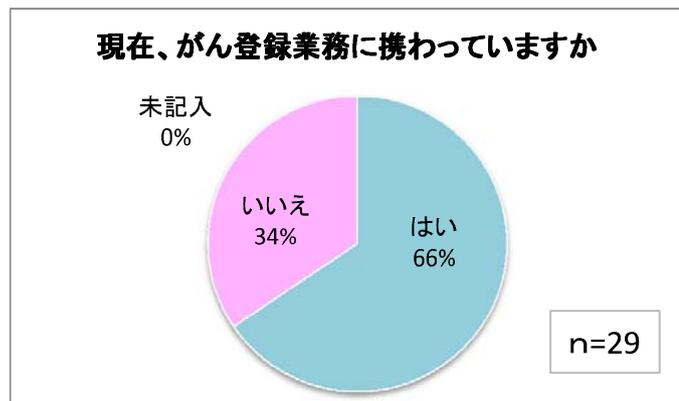
設問1.5 国立がん研究センター主催の「院内がん登録実務者研修」を修了していますか。

	回答者数	件数	割合
初級者修了	29	18	62.1%
中級者修了	29	5	17.2%
指導者修了	29	1	3.4%
受講していない	29	7	24.1%
未記入	29	0	0.0%



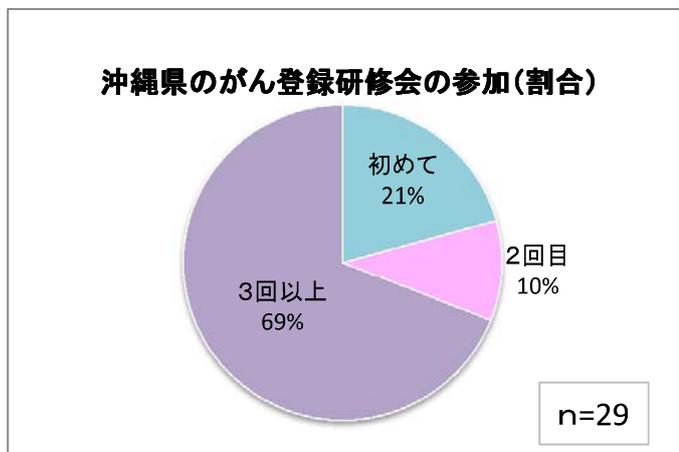
設問1.6 現在、がん登録業務に携わっていますか。

	件数	割合
はい	19	65.5%
いいえ	10	34.5%
未記入	0	0.0%
合計	29	100.0%



設問2.1 沖縄県で開催している「がん登録研修会」に参加するのは初めてですか。

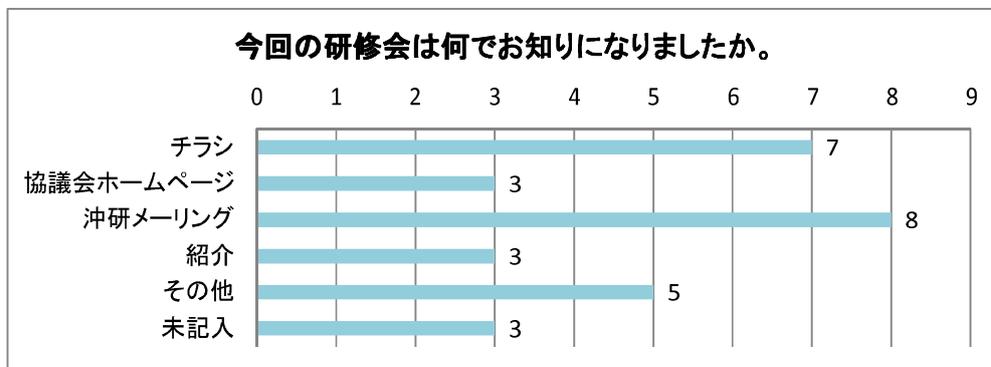
	件数	割合
初めて	6	20.7%
2回目	3	10.3%
3回以上	20	69.0%
未記入	0	0.0%
合計	29	100.0%



設問2.2 今回の研修会は何でお知りになりましたか。

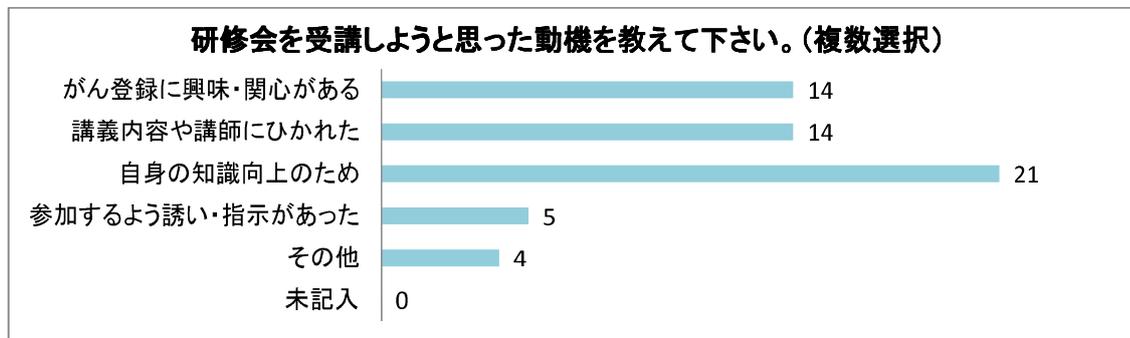
	件数	割合
チラシ	7	24.1%
協議会ホームページ	3	10.3%
沖研メーリング	8	27.6%
紹介	3	10.3%
その他	5	17.2%
未記入	3	10.3%
合計	29	100.0%

その他
職場
がん登録部会



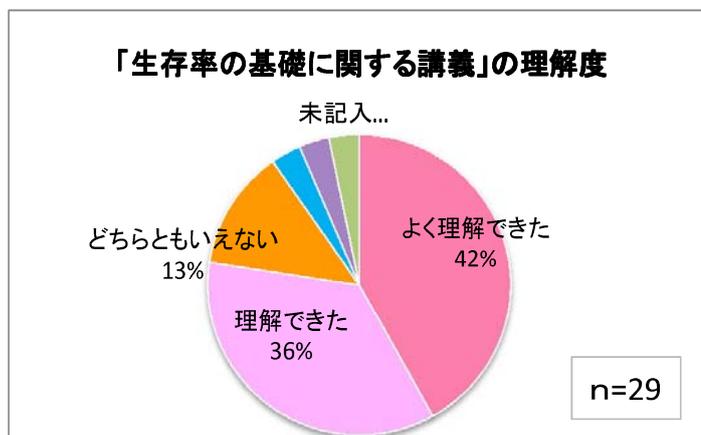
設問2.3 今回の研修会を受講しようと思った動機を教えてください。(複数選択可)

	回答者数	件数	割合
がん登録に興味・関心がある	29	14	48.3%
講義内容や講師にひかれた	29	14	48.3%
自身の知識向上のため	29	21	72.4%
参加するよう誘い・指示があった	29	5	17.2%
その他	29	4	13.8%
未記入	29	0	0.0%



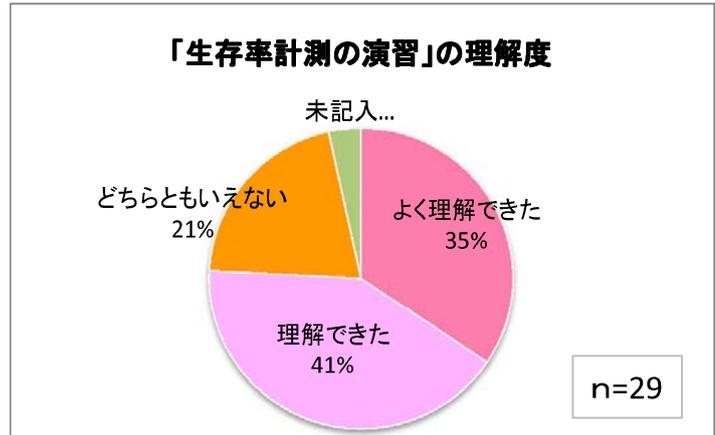
設問3.1「生存率の基礎に関する講義」の理解度について

	件数	割合
よく理解できた	13	41.9%
理解できた	11	35.5%
どちらともいえない	4	12.9%
理解できない	1	3.2%
全く理解できない	1	3.2%
未記入	1	3.2%
合計	31	100.0%



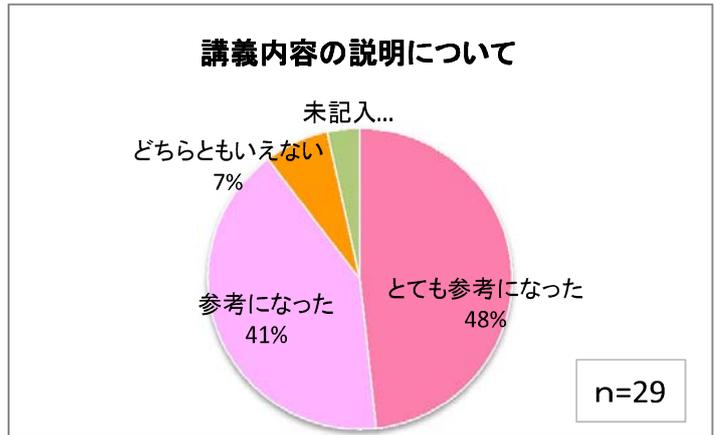
設問3.2「生存率計測の演習」の理解度について

	件数	割合
よく理解できた	10	34.5%
理解できた	12	41.4%
どちらともいえない	6	20.7%
理解できない	0	0.0%
全く理解できない	0	0.0%
未記入	1	3.4%
合計	29	100.0%



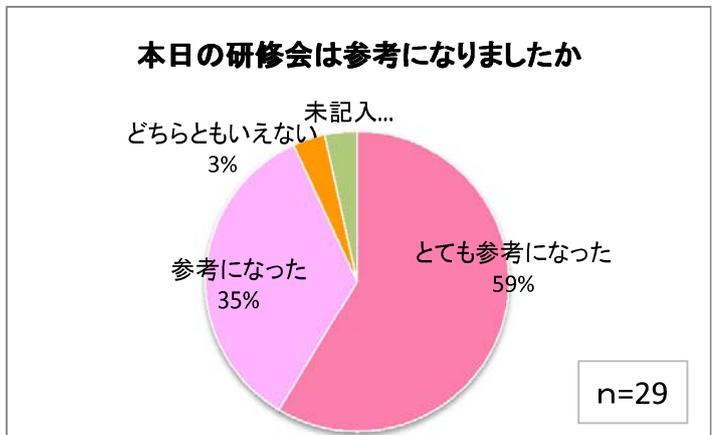
設問3.3講義内容の説明について

	件数	割合
とても参考になった	14	48.3%
参考になった	12	41.4%
どちらともいえない	2	6.9%
参考にならなかった	0	0.0%
全く参考にならなかつ	0	0.0%
未記入	1	3.4%
合計	29	100.0%



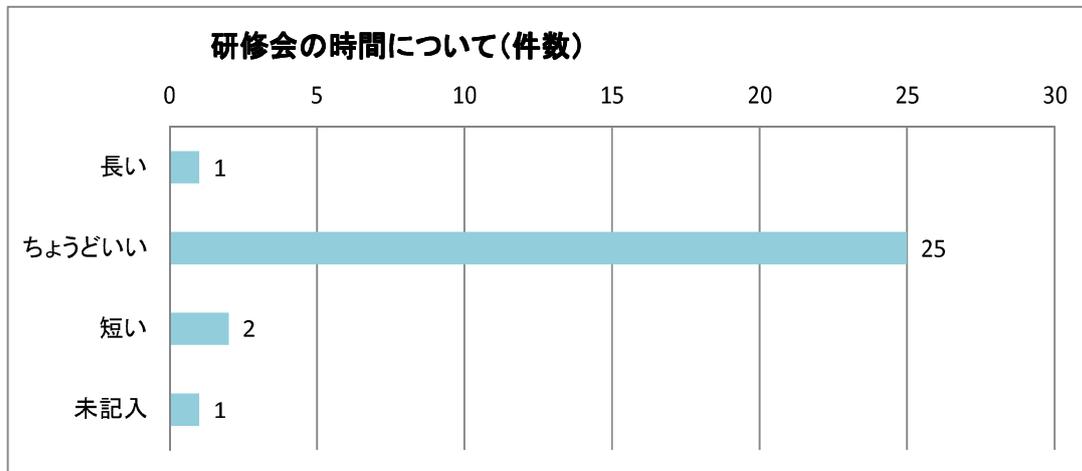
設問3.4本日の研修会は参考になりましたか

	件数	割合
とても参考になった	17	58.6%
参考になった	10	34.5%
どちらともいえない	1	3.4%
参考にならなかった	0	0.0%
全く参考にならなかつ	0	0.0%
未記入	1	3.4%
合計	29	100.0%



設問3.5研修会の時間について

	件数	割合
長い	1	3.4%
ちょうどいい	25	86.2%
短い	2	6.9%
未記入	1	3.4%
合計	29	100.0%



設問4.本研修会に関する意見、要望がございましたら記入お願い致します。

いろいろな症例を参考に、登録の仕方とかの講義を、お願いしたいです。

すごくわかりやすかったです。ありがとうございました。(統計の勉強ができて、すごくよかったです。)

講義の説明がとてもわかりやすかった。演習まで流れでできて理解の助けになった。

最高にわかりやすく、今後、役に立つとても充実した研修！！ありがとうございました。

次回も、生存率の計算などをお願いいたします。

生存方法は、主にごん登録の現場では、知識があった方がいいということは分かりましたが、患者さんも更に知識を身につけて(今は難しいので、患者さん向けに比較的簡単に)知っておくといいいのかなと思いました。

全国ごん登録に向けて個人情報に関する情報が知りたいです。

大変有意義な研修でした。有難うございます。演習についてももう少し回数をかさねないと上手く理解できないかな～と思いました。

仲村先生の説明はとてもわかりやすく勉強になりました。来年生存率を出す予定なので、今日教えて頂いた内容を理解し、業務にのぞみたいと思います。

来年度の研修は、全国ごんに向けて再度、登録の仕方を見直していきたいです。
血液疾患・頭頸部など難しい分野も教えて頂きたいです。

設問5.今回の講義でわからなかったところ、また質問等がございましたらお書きください。

「打ち切り」についてももう少し知りたかったです。どの判断でデータのどこに入力するか等。でも、全然わからなかったので大変参考になりました。ありがとうございました。

1回の受講では不安もありますが、とても楽しかったです。

よく理解できました。院内でも使用してみたいと思います。

演習が難しかった。又生存率の研修会がありましたら勉強させて頂きたいです。

初歩的なことかもしれませんが、「率」と「割合」の違いを初めて理解しました。(あまり深く考えていませんでした・・・)とてもわかりやすい講義、ありがとうございました。

本日は、講習をして頂きましてありがとうございました。琉大ごん登録部署の皆様、講習、研修会を開いて頂きありがとうございました。

平成 26 年度 5 回 沖縄県がん診療連携協議会がん登録部会議事要旨

日 時 : 平成 26 年 12 月 16 日 (火) 15:00~17:30

場 所 : 琉球大学医学部附属病院 がんセンター

出席者 : 9 名

安里邦子 (中部徳洲会病院)、平安政子 (那覇市立病院)、宮里貴子 (北部地区医師会病院)、当間豊 (県立中部病院)、戸倉さおり (県立宮古病院)、糸数名子 (県立保健医療部衛生環境研究所)、仲本奈々 (琉大病院がんセンター)、天野明日香 (医療の質向上センター)、高橋ユカ (陪席: 琉大病院がんセンター)

欠席者 : 宮國絵梨奈 (県立中部病院)、翁長道代 (県立八重山病院)、金城香澄 (県立八重山病院)

[報 告]

1. 平成 26 年度第 4 回 沖縄県がん診療連携協議会がん登録部会議事要旨 (資料 1)
平成 26 年度第 4 回 沖縄県がん診療連携協議会がん登録部会議事要旨が承認された。
2. 平成 26 年第 2 回 院内がん登録研修会アンケート集計結果 (資料 2)
先月、29 日に開催された第 2 回 院内がん登録研修会のアンケート結果について、仲本より報告があった。前回に引き続き、今回も参加者から好評を得た。来年度の研修会については、参加者から出た意見や要望を反映したもの開催したいと提案がなされ、協議事項 1 で協議した。
3. 沖縄に還元される院内がん登録全国集計データについて (資料 3)
上記のデータについて、県からいただくことができた。については、来年 3 月に発行する「沖縄県がん診療連携拠点病院院内がん登録 2011 年、2012 年集計報告書」に反映することが、仲本より報告があった。

[協 議]

1. 次年度の院内がん登録研修会について (資料 4)
資料 4 に基づき、来年度の研修会について、来年度から院内がん登録初級者研修が廃止され、認定試験に移行することを踏まえて協議された。1. について、国立がん研究センターの指針を待つこととなった。2. について、今後、指導者研修修了者の人数を積極的に増やさない方針が出されているため、増加の働きかけは難しく、3. については、実施が必要か確認することとなった。4. について、需要があると考えられるため、来年度 4 月に開催する方向で検討することになった。また、研修会の開催回数、内容については、年度当初に情報収集を行った上で、改めて検討することが承認された。

2. 国立がん研究センターからの研究依頼について（資料5）

資料5に基づき、今年度も研究協力依頼の依頼があると、仲本から報告があった。まだ正式な依頼がないため、研究内容が不明のため報告のみとなった。
3. 院内がん登録報告書2011・2012年について（資料6）

資料6に基づき、はじめに表紙について協議された。表紙は前回と同じものを採用。各施設の中表紙は部会委員の平安さんの写真を採用することが承認された。配布先については、前回の配布先に加え、各地区医師会、県立や医療系学校図書館への配布が承認された。
4. がん登録部会事業計画について（資料7）

来年2月に行われる第4回沖縄県がん診療連携協議会で、部会の平成26年度事業計画と評価報告を行うにあたり、施策の達成状況について資料7に基づき協議された。施策2から7について、原案どおり報告することが承認された。施策1と8について、各施設の院内がん登録の実施状況と、院内がん登録初級・中級・指導者研修修了者の人数を把握するため、来年度早々に各施設へアンケート調査を行う必要があるという意見が出された。また、研修会修了者は琉大がんセンターへ報告すること義務づけてはどうかという提案があった。施策9については、分析し学会では発表したことから、評価を3点に変更することが承認された。施策10については、今年度初めて比較検討できた上、学会で発表することができたため、評価を10点とすることが承認され、以上の内容で報告することが承認された。協議会後の部会で、来年度の事業計画について施策を2つほど変更することが承認された。
5. 平成26年度がん登録部会委員一覧（資料8）

今回、沖縄県保健医療部衛生研究所の地域がん登録担当の糸洲さんを委員名簿に追加した。また、陪席者の高橋も追加することが承認された。
6. 次回の開催日程について
今回は2015年2月17日（火）15：00～に開催することが承認された。